

平成22年度 北海道開発局関係補正予算について

- 1 平成22年度補正予算については、「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」が取りまとめられたことを受け、新成長戦略の前倒し、地域の生活の安心への寄与等の観点から、北海道開発の一層の推進を図るインフラ整備を実施するための一般公共事業費予算が計上されました。（具体例については、P4以降参照）

○「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」

		うち一括配分
直轄事業	381億円	(51億円)
補助事業	271億円	()
計	652億円	(51億円)

- 2 公共事業の端境期における効率的な執行確保のため、国庫債務負担行為（ゼロ国債）が計上されました。

○国庫債務負担行為（ゼロ国債）

		うち一括配分
直轄事業	667億円	(101億円)
補助事業	17億円	()
計	684億円	(101億円)

平成22年度 北海道開発局関係補正予算（事業費）

【直 轄】

（単位：百万円）

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一 括 配 分	
治 水	7,855	575	
道 路	22,015	4,570	
港 湾 整 備	330	—	
農 業 農 村 整 備	6,174	—	
水 産 基 盤 整 備	1,750	—	
合 計	38,124	5,145	

【補 助】

（単位：百万円）

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一 括 配 分	
農 業 農 村 整 備	8,485	—	
水 産 基 盤 整 備	1,600	—	
社 会 資 本 総 合 整 備	17,037	—	
合 計	27,122	—	

【合 計】

（単位：百万円）

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一 括 配 分	
治 水	7,855	575	
道 路	22,015	4,570	
港 湾 整 備	330	—	
農 業 農 村 整 備	14,659	—	
水 産 基 盤 整 備	3,350	—	
社 会 資 本 総 合 整 備	17,037	—	
合 計	65,246	5,145	

- 注 1. この外、北海道開発事業費には農山漁村地域整備交付金が計上されている。
 2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 3. 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

平成22年度 北海道開発局関係補正予算（事業費・ゼロ国債）

【直 轄】

（単位：百万円）

事 項	ゼロ国債		備 考
		一括配分	
治 水	10,852	1,547	
道 路	42,728	7,713	
港 湾 整 備	4,482	846	
空 港	330	—	
農 業 農 村 整 備	6,670	—	
水 産 基 盤 整 備	1,610	—	
合 計	66,672	10,106	

【補 助】

（単位：百万円）

事 項	ゼロ国債		備 考
		一括配分	
道 路	360	—	
港 湾 整 備	60	—	
水 産 基 盤 整 備	1,302	—	
合 計	1,722	—	

【合 計】

（単位：百万円）

事 項	ゼロ国債		備 考
		一括配分	
治 水	10,852	1,547	
道 路	43,088	7,713	
港 湾 整 備	4,542	846	
空 港	330	—	
農 業 農 村 整 備	6,670	—	
水 産 基 盤 整 備	2,912	—	
合 計	68,394	10,106	

- 注 1. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 2. 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

石狩川下流（豊平川）直轄河川改修事業（北海道）

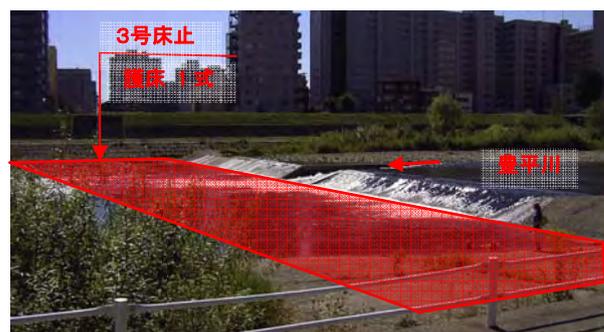
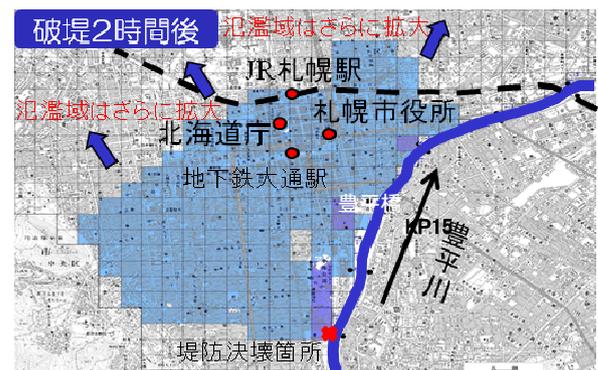
1. 事業概要

豊平川は全国有数の急流河川であり、河道安定化対策として7基の床止工が設置されている。3号床止は昭和25年に設置されたものであり護床工の敷設延長が不足し、危険な状況となっている。豊平川はサケの遡上河川であり、関係機関等と協議を進めてきたが、調整が整ったことから、根固工の敷設等を実施し安全性の確保を図るものである。



2. 事業効果

追加的予算措置により、札幌市中心部を貫流する豊平川の河道の安定化を図ることにより、河岸や堤防決壊による札幌市中心部の被害発生の危険性を回避し、早期に地域の安全性の向上を図る。

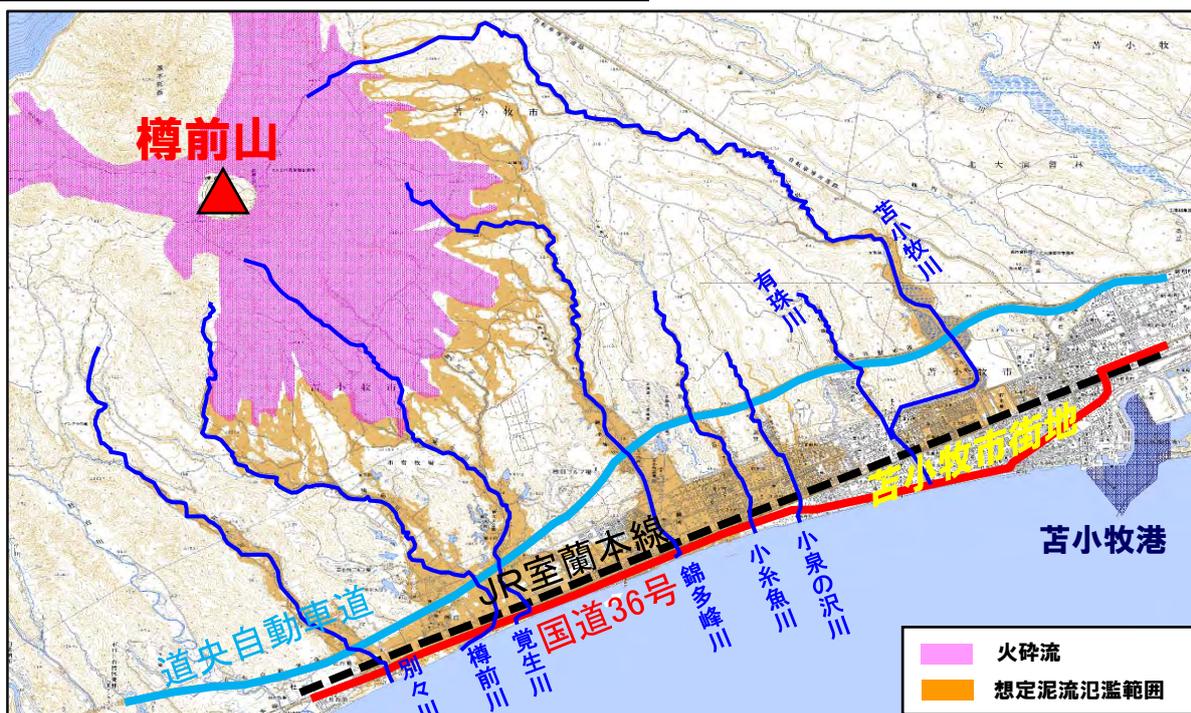


樽前山直轄火山砂防事業（北海道苫小牧市）

樽前山は有史以降も多くの噴火を記録し、1978年にも噴火するなど火山活動が活発で激甚な土砂災害のおそれが高い火山である。

樽前山周辺には苫小牧市、白老町の市街地が形成され、高速道路、国道、JR、新千歳空港や苫小牧港といった北海道の人流・物流を支える施設が位置しており、噴火した場合、極めて甚大な被害の発生が危惧される。

このため、火山噴火に伴う泥流の氾濫を抑制し、火山泥流対策を推進するため砂防設備の整備を進めている。追加予算により苫小牧遊砂地の整備を実施し、火山噴火時の泥流対策を促進する。



ほんべつ くしろ

北海道横断自動車道 本別～釧路

・ 北海道横断自動車道の札幌～釧路間(約288km)は、札幌～夕張間(約72km)及び占冠～浦幌間(約124km)が供用済みであり、現在、夕張～占冠間(約35km)を東日本高速道路株、浦幌～釧路間(約57km)を新直轄方式により整備中。

平成22年度補正予算により、浦幌IC～釧路IC間の整備を促進することで、早期に国土ミッシングリンクの解消など地域連携の推進が図られる。



国土ミッシングリンクの解消など地域連携の推進



① 国際コンテナ車通行支障区間
国道38号 浦幌トンネル



供用状況

函館港 弁天地区 船溜まり整備事業(改良)

1. 事業概要

港内における多そう係留等による非効率な係留状態を解消するため、函館港弁天地区において船溜まりの整備を行っています。

平成22年度補正予算では、本船溜まりの整備を促進します。

2. 計画内容

箇所名：函館港 弁天地区

実施内容：岸壁(-6.5m) (改良)



生産基盤の整備による地域活性化

農業農村整備事業

1. 農業水利施設の保安全管理

～更新時期を迎える基幹的農業水利施設等について、更新等の保安全管理を促進し、生産基盤の強化を図ります。

2. 基盤整備による地域活性化の推進

～畑地かんがいによる産地形成の促進、水田の排水対策による多様な畑作物の生産拡大等により農村地域の基幹作業である農業の振興を通じた地域活性化を推進します。

対象事業： 国営かんがい排水事業、国営農地再編整備事業、
国営総合農地防災事業



用水施設の整備による農業用水の安定供給



水田の排水対策による多様な畑作物の生産拡大

～水産基盤整備事業～

直轄特定漁港漁場整備事業【ウトロ地区】

1. 事業目的

本漁港は漁船の大型化等により漁港内が狭隘な状況となっており、また、背後用地の不足、漁港に來訪する観光客と漁業活動が輻輳するなど、漁業活動が極めて非効率な状態となっており、漁獲物の鮮度低下等の課題も顕在化している。

このため、漁業活動の効率化、漁港内の安全性の向上、水産物の衛生管理向上を目的として、人工地盤を含めた新港地区の拡張整備を行うものである。

2. 事業内容

事業箇所: 斜里町

事業内容: 用地(人工地盤) 1式



漁港名: ウトロ漁港(第4種)

完成予想図



3. ウトロ漁港の現状

